

北に育つ

北海道稚内養護学校
学校便り
平成31年2月15日発行
第7号
発行者 首藤 啓美子

風雪の中に立つ桜のように

教頭 橋本 伸明

教室の窓から見える桜の木は、厳しい風雪にさらされながらも堂々としています。そんな桜の姿を見ていると、私が小学校教諭として赴任した20数年前の道徳の授業を思い出します。その道徳の授業で、桜の木の話を通し、冬の厳しい時期があるからこそ、桜は春になると美しい花を咲くことができるという話をしました。

作者は、美しいピンク色に染まった布を見て「どのようにしてその色を染めたのですか」と職人に尋ねました。すると、「桜で色をつけたのです」と答えたのです。

てっきり花びらか何かからの色ではないかと思いき、さらに詳しく尋ねたところ、実は、開花前の茎から取って染めた色だと知ったのです。

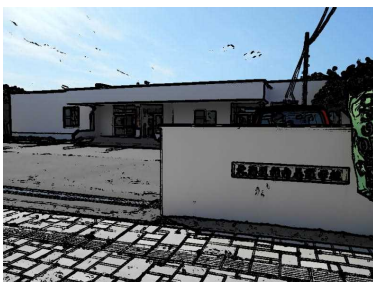
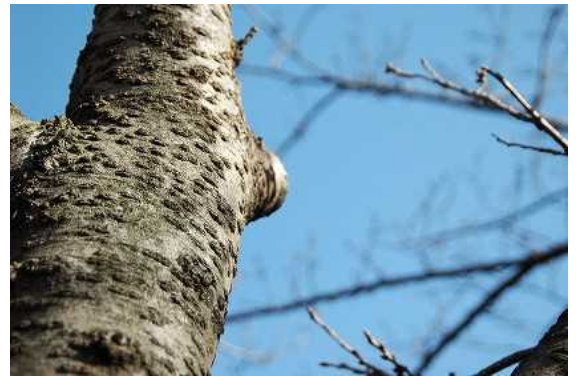
桜は花を咲かせる前、寒い冬の間茶色の幹の中であの色を作る準備をしていて、この時の色が、布をあの美しい色へと染め上げていたのです。

4月になると、美しい色で咲き薫る桜の花は、厳しい冬の時期に準備を整え、幹の中でその力を蓄えている源泉があるのです。

さて、稚内養護学校へ通う子どもたちも寒さに負けず、元気にスキー学習や雪遊び、個別の課題学習などに取り組んでいます。子どもたちは、日々の学習で学んだり、体験したりした積み重ねが大きな力となります。学んだことが成果としてすぐに表れる一方、成果としてすぐに表れないことがあるかもしれません。学んでいることが本当に力になっているのかと疑問を抱くかもしれません。

しかし、時がくれば、美しい花を咲かせる桜のように、「必ず、学んだこと、身に付いたことが、結果となって表れる日が来る。」と信じ続けるのが、子どもたちと関わる中で、大切なことだと思っています。

子どもの伸びる力を信じ、春になると美しい桜を咲かせるように、子どもたち一人ひとりの持ち味やよさを伸ばすことができるよう、教育活動の充実を図っていきたく考えています。保護者の皆様には、今後も教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



◎ 第56回 手をつなぐ子らの作品展 ◎

昨年(2022年)の12月2日(日)、稚内市勤労者青少年体育センターにて「第56回手をつなぐ子らの作品展」が開催されました。今年も、宗谷管内の特別支援学級に在籍している児童生徒のみなさんと一緒に、作業学習で製作してきた作品の展示と販売をしました。あわせて、図工や美術で取り組んだ壁面装飾も一緒に展示され、華やかな会場となりました。



この行事は、中学部・高等部の生徒にとって、自分たちの作品を直接手にとってもらうことができる貴重な機会として、意欲・関心が高い活動です。事前に練習を重ねたことにより、笑顔も交えながら自信たっぷりに紹介する姿が見られました。たくさんの作品が並ぶ中、稚内養護学校を選んで見に来てくれるお客さんに大きな声で「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」と伝えている姿は、達成感に満ち溢れていました。

小学部の児童にとっては、公共交通機関の利用の仕方や買い物を通して地域を知ることができる大切な行事です。友達や先生とバスに乗ること、買い物をしながら自分のお気に入りの作品を探すこと、そして地域の友達と関わることで、大きな経験となる機会になりました。



当日は、保護者の皆さまにもたくさんお越しいただき、ありがとうございました。お手にとっていただいたものは、毎日の作業学習の中で丹精込めて作ってきた作品です。ぜひご家庭でも活用していただき、生徒への励ましを伝えてくださいますと嬉しく思います。

(文責：伊藤)

◎ 学校給食週間を行いました ◎

学校給食の起源は、明治22年、山形県下の小学校で昼食を提供したことに由来します。その後、全国各地へと広まっていきましたが、太平洋戦争の影響などによって中断されました。しかし、昭和21年12月24日、東京都内の小学校でアメリカから給食用物資の贈呈式が行われ、学校給食が再開し、その日を**学校給食感謝の日**と決めました。その後、冬季休業と重ならない1月24日～30日までの期間を「学校給食週間」としました。

さて、今年度から稚内養護学校も「学校給食週間」を始めました。今回の「学校給食週間」では、次のような機会に出会える献立を考え、実施しました。



- ・「日本で初めての給食の再現献立」を通じて給食の歴史を知り体験する
- ・「稚内特産物給食」を通じて地場産物を知る
- ・「沖縄郷土料理給食」を通じてICT交流のある沖縄の郷土料理を知り体験する
- ・「ロシア料理給食」を通じて隣国を知り体験する
- ・「セレクト給食」を通じて食べたい物を選択する

児童生徒に人気があった給食は「セレクト給食」でした。「セレクト給食」では中学部、高等部では自分で書いたアンケート用紙を見ながら配膳を行っていました。自分で選択した献立なので残菜も少なかったです。児童生徒からは「来年も自分で選んだ給食を食べたい」という声も出ていました。次年度以降も「学校給食週間」を通じて知る機会、体験する機会になればと思います。(文責：中川)



中学部・配膳の様子



小学部・給食の様子



中学部・給食の様子



高等部・給食の様子

◎ 今年の寄宿舎～地域の皆様に感謝申し上げます ◎

今年度は、男子棟14名・女子棟3名、合計17名の舎生が元気いっぱい過ごしています。小学生から高校生までの幅広い集団の中で、上級生は下級生の手本となり、下級生は上級生を見習い、また、友達を思いやり助け合いながら生活しています。

副港市場への棟外出や北門神社祭への全体外出などで、公共の場でのルールやマナーを学びました。また、ボランティア活動として行ったごみ拾いや、稚内北斗ライオンズクラブさんのご招待による「交歓会」など、地域の方々との関わる機会も多くありました。寄宿舎の中だけではなく、外でのたくさんの方との触れ合いが貴重な経験となっています。



声問町内会の方との「声問海岸ごみ拾い」



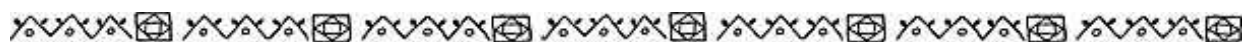
稚内北斗ライオンズさんとの交歓会



北都プロレスさんとの交流

寄宿舎は、舎生の生活にとって一つ一つが学びの空間であり、そして一人ひとりが楽しい思い出とともに大きく成長できる場でもあります。ここで得た経験が、社会で活躍していく糧になるものと、全職員、切に願っています。今年度も残りわずかとなりましたが、このメンバーで生活する時間を最後まで大切にしてお過ごししてほしいと思います。

(文責：児玉)



< 3月の行事予定 >

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1日(金) 保護者説明会 | 12日(火) お別れ会(舎) |
| 4日(月) 小学部二計測 | 13日(水) 卒業式総練習 |
| 5日(火) 中学部二計測 | 15日(金) 卒業式 |
| 6日(水) 高等部二計測 | 22日(金) 修了式、離任式 |
| 8日(金) 第2回保護者懇談会(舎) | 閉舎日(舎) |

